





コロナ禍での 第80回全国産業安全衛生大会 令和3年度（東京大会）の 開催について

2021年3月10日

中央労働災防止協会

全国産業安全衛生大会の大義

-  日本の労働安全衛生の向上、働く人の労働災害の防止・健康増進に貢献する
-  労働安全衛生に携わる企業・事業場の担当者・作業員・管理者のプレゼンスを上げる
-  国の労働安全衛生施策の検討・考察・啓発や災害防止計画の実行・目標達成に資する
-  開催地の経済効果に貢献する、等

ピンチをチャンスに

コロナ禍での全国産業安全衛生大会開催を考える

国内最大の安全衛生の祭典

大会の大義を念頭におきつつ

安全で安心な開催方法の提供

第80回全国産業安全衛生大会 (東京大会) の開催について

- コロナ禍での第80回東京大会開催概要について
 - ◆ コロナの状況が現状のままの場合の開催方法



- ◆ 開催方法：ハイブリッド開催
- ◆ 具体的な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じる
- ※ 感染者数、コロナ本部の対策等を踏まえて現地会場
の入場者数を調整する

「第80回（令和3年度）東京大会」開催概要について

- 開催期間 令和3年10月27日（水）～29日（金）
- 会場 総合集会：東京国際フォーラム ホールA
分科会：東京国際フォーラム ホールB5, B7, C
- 参加料 一般：13,200円、賛助会員：6,600円（いずれも税込）
- 開催形態 現地開催とオンライン開催のハイブリッド開催
（★新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から）

現状のままだと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として入場者数を制限することになり、現地参加できない参加者のために、会期中・会期後（1か月間程度）、特別講演・分科会等のライブ・オンデマンド配信をインターネットで行う予定としています。

課題となるコロナ対策を講じた現地開催について

(現地開催及びオンライン開催の併用 (ハイブリッド))

- 会場の収容人数を考慮し、**収容率を50%の入場制限**を行います。会場に入れなかった参加者の皆様にはWeb上でのライブ配信及びオンデマンド配信を行います。
- 2020年以降、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点などからオンラインイベントのニーズが高まっており、現地リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドでの開催とします。

	現地開催	オンライン開催
場所	東京国際フォーラム	社内、自宅、カフェなど
期間	主催者が指定した期間 (3日間)	主催者が指定した期間 (終了後も配信)
時間	主催者が指定した時間内	24時間 (来場者の都合のいい時間)
対象	会場に来場できる方	インターネット環境がある方すべて
費用	13,200円	13,200円

第80回東京大会現地参加者イメージ（収容率50%）

- 例年、全国大会の3日間の参加者数は延べ15,000人超です。（参加券購入者は、毎年10,000人程度です。）
- 例年、1日目総合集会には5,000～6,000人が参加しています。

プログラム 会場	日程	コロナ感染症対策 現地 参加者数	コロナ感染症対策 オンライン 参加者数
総合集会・開会式 東京国際フォーラムA	令和3年 10月27日（水）	2,500人 ▲50%以下	7,500人以上
分科会（10以上） 東京国際フォーラムB、C 等	令和3年 10月28日（木） ～10月29日（金）	各会場定員の半数 ▲50%以下	7,500人以上

1日目の開会式及び総合集会の会場である国際フォーラムのホールAの収容人数が5,000人のため2,500人の人数を予定しています（※状況等の変化で増減します）。

オンライン開催イメージ等

•参加者

場所、時間などを気にせずに、閲覧期間は何度でも自由にアクセスできます。遠隔地の方や参加できない人も参加することができます。

•総合集会・開会式・分科会等

開催期間中はライブ配信します。現地開催期間終了後にはオンデマンドで配信します。

•より多くの情報収集が可能

オンライン上で実施することにより、より多くの研究発表・講演等の聴講の機会が増え、検索エンジンで知りたい他社の事例が素早く入手できるなど安全衛生活動を進める上で幅広い情報収集が可能です。

現地リアル開催における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

1. 各ホールに入館する人は全員マスクの着用をお願いします。
2. サーモグラフィー又は非接触型などの体温計を用いて検温を実施します。
3. 接触確認アプリ (COCOA)等のインストールを呼びかけます。
4. 各ホールの収容率・上限人数を厳守しソーシャルディスタンスを確保できる環境づくりを実施します。
5. 各ホールの発声する演者と参加者間の適切な距離を保ちます。
6. 各ホールの常時換気、清掃・消毒の頻度を高め、とくに触る機会の多い物品はできるだけ取り除きます。
7. 各ホール上限入館者数と入場者を把握するため、事前受付を行い各人にQRコードをお渡しします。当日は受付でQRコードでの入場とします。
8. 手洗い・手指の消毒を頻繁にしていただくよう各ホールで繰り返しアナウンスします。
9. 全関係者に毎朝出勤前の検温と体調確認をしてもらい、37.5度以上の発熱、咳などの症状がある方には来場を控えるよう周知徹底します。
10. 有時に備え、医療機関の把握や対応手順について開催施設と相談し、救護・連絡体制を整備します。

参考文献：（一社）日本コンベンション協会作成 「新型コロナウイルス感染症禍におけるMICE開催のためのガイドライン第3版」

現地リアル開催における 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

<当日の運営等>

- 運営体制の整備（医療、警備、受付、換気、清掃にかかる人員の増加）
- 衛生用品の整備（マスク、消毒液、サーモグラフィー、非接触型体温計）
- サイン（表示）の整備

その他、必要と思われるものを準備いたします。

令和3年10月27日（水）～10月29日（金）までに開催される第80回東京大会の現地開催では、参加者の皆様及び全ての関係者の皆様の命を優先に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・運営についての徹底を図るべく、マニュアルを整備して開催いたします。

製造業安全対策官民協議会 特別セッション

- 日程：令和3年10月28日（木） 大会3日間の2日目の午前中
- 場所：東京国際フォーラム
- **開催方法：現地開催及び大会終了後にオンデマンド配信の予定**
- プログラム：まだ未定であるが、以下、京都大会を参考

参考： 京都大会 官民協議会特別セッションのプログラム

○製造業安全対策官民協議会会長（一般社団法人日本化学工業協会） 末次 稔氏

開会挨拶及び官民協議会の取組状況等

○サブワーキンググループの検討・今後の方向性（向殿先生、田村先生）

○シンポジウム テーマ：社会情勢の変化・変革期の安全衛生を考える

1部 基調講演：重篤災害未然防止に的を絞った実践的安全活動

安全と人づくりサポート 代表 古澤 登 氏

2部 パネルディスカッション（パネリスト）

① 製造業安全対策官民協議会会長代理（一社 自動車工業会）トヨタ自動車 安全健康推進部長
永見 孝 氏

② 東京大学名誉教授 田村 昌三 先生

③ 明治大学名誉教授 向殿 政男 先生

④ 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 毛利 正 氏（安全衛生部長の代理）

⑤ 経済産業省 大臣官房審議官（製造産業局担当）大内 聡 氏

⑥ 中央労働災害防止協会 理事長 八牧 暢行 氏

司会・進行 田村 昌三 先生

今日も一日 ご安全に
本日はありがとうございました
全ての働く人々に安全・健康を
～Safe Work ,Safe Life～

全ての働く人々に安全・健康を ～ Safe Work , Safe Life ～

JISHA 中災防
Japan Industrial Safety & Health Association